

# 中古報



県立二中・那覇高創立88周年記念事業

## 芸能フェスティバル



那覇市民会館大ホールにて、母校の校歌を出演者と観客で大合唱

### ◇母校の米寿を祝う◇

今年、県立第二中学校・那覇高等学校は創立88周年米寿を迎える。同窓会員は二中35期間4,038人、戦後の那覇高校51期間29,657人、定時制25期間2,363人合計36,058人に増大した。

光輝ある校風と伝統に支えられて、有能な人材を育成し、県内はもとより、県外においても政治、経済、文化の活動の中核となって活躍されている。今回、県内の今をときめく、ジャズ、クラシック、琉球舞踊、日本舞踊等に権威のある同窓生のみなさんと吹奏楽部の生徒たちがジョイントして、素晴らしいフェスティバルが催されたことは、伝統を誇る県立二中・那覇高校の創立88周

年記念祝賀の気運をいやが上にも盛り上げ、加えて後進の者に大きな夢と希望を与えるものであり、誠に有意義であった。

記念事業の一環として『城岳同窓会 芸能フェスティバル』は6月12日（金）那覇市民会館大ホールで行われ、昼の部は那覇高校生徒、夜の部は一般を対象とした。『ジャズの世界』『クラシックの世界』『琉球舞踊の世界』『日本舞踊の世界』の4部で構成され、那覇高校吹奏楽部も特別出演した。それぞれの道を極めたOBが熱演し、生徒たち1,600人余は、その迫力ある舞台に圧倒された様子で大きな拍手を送っていた。

## ◇芸能フェスティバルを観て◇ 生徒の感想

・夕方のニュースで毎日見ている阿佐慶アナウンサーが那覇高の先輩だとは知らなかったので、とても驚いた。（2年 松長 将平）

・今までジャズというものを聞いた事がなかったのですが、初めて聞いたのがこんなにも素晴らしいものだったので本当に感動した。

（1年 盛山美紀子）

・僕が一番感動したのは、ジャズのピアノ演奏だった。遠くから見てもすぐ白髪混じりだとわかる人が軽快にピアノを弾いている姿はとても楽しそうだった。僕もこれからいろんなことを一生懸命頑張ってみようと思った。

（1年 喜瀬 隼人）

・生演奏で聴くクラシックはとても優雅な感じがして楽しめた。（2年 友利健太郎）

・自分も琉球舞踊を習っているが、こんなに大きな舞台で踊っているの見るのは初めてだったので、新鮮な感じがした。それに、知っている曲があったので十分楽しめた。

（1年 比嘉 梢）

・琉球舞踊を習っている私は、那覇高の先輩に同じ芸能の世界でこれほど活躍されている先輩がいると知り、私も今以上に芸に打ち込み、技を磨き、先輩方のようになりたいと思いました。（1年 瀬底 可恵）

・初めて日本舞踊を見たが、琉球舞踊とは全く違うものだということに驚いた。

（2年 金城 貴子）

・二中時代からのフィルムには大きな驚きを感じた。今の那覇高からは想像もできない小



ホールへの入場を待つ生徒たち

さな木造校舎、戦後の手作りの校舎等、那覇高の歴史の長さを感じた。

（1年 黒島 志奈子）

・二中の先輩方が校歌を合唱したときには、この人たちも自分たちと同じような時期があったんだと思うと、歴史の長さを感じた。

（1年 赤嶺 恵里）

・吹奏楽部として参加できたことをとても誇りに思っている。二中、那覇高の先輩方の歌う校歌を演奏できてとてもよかった。

（2年 神元 奈津季）

・吹奏楽部でコントラバスを担当しているので、ジャズの演奏の方法等とても勉強になった。自分も将来先輩方のような演奏ができるようになりたい。（2年 平良 美和子）

・究極にまで高められた芸の真髄というものをさまざまと見せつけられた。

（2年 仲原 朝子）

・先輩方の輝かしいステージでは学ぶべきことがたくさんあった。自分のやりたいことをやっているといきいきとして見えて、自分も有意義な高校生活を送り、先輩方のように生きてみたいと思った。（2年 神谷 素子）

・今まで一年ちょっと通っていた学校が、想像もつかないほど長く、深い歴史を持っており、多くの優秀な人材を世に送り出してきた偉大な学校であったことが、一番強く心に残った。（2年 德嶺 作恵）

・今回のフェスティバルを通して、那覇高出身の先輩方には、有名な人がたくさんいるということがわかり、嬉しくなった。そして、その那覇高に通うことができてよかったと思い、それが、誇りになったような気がした。

（1年 大田 喜一郎）

・こんなにたくさんの先輩方が、後輩たちのために何か残そうと一生懸命頑張っているのだと思うと、自分も那覇高のため、後輩のために頑張ってみようと思い、那覇高の生徒であることを誇りに感じた。

（1年 上原 安博）

# ◇◇◇城岳同窓会定期総会・懇親会◇◇◇

平成10年度城岳同窓会定期総会が5月22日午後5時半より、那覇東急ホテルゴールデンホールにおいて開催され、引き続き懇親会が盛大に行われた。

総会は、宇良宗真会長の挨拶の後、慎重な審議が行われ、全会一致で承認された。また、創立88周年記念事業の報告もあり、滞りなく進行した。



## 1. 審議事項

- (1) 平成9年度決算報告及び監査報告
- (2) 平成10年度事業計画
  - a 総会・懇親会
  - b 芸能フェスティバル
  - c 二中健児の塔慰靈祭
  - d 創立88周年記念式典並びに祝賀会
  - e 創立記念文化講演会

(3) 平成10年度予算

(4) 役員の補充

(5) 会則の一部改正

## 2. 報告事項

(1) 県立二中・那覇高創立88周年記念事業について

(2) 『芸能フェスティバル』について

懇親会は、宮城肇氏の軽妙な司会で終始なごやかに進行した。宇良宗真会長の挨拶、久場政彦顧問の乾杯の後、二中校歌斎唱と続き、先輩方の元気あふれる歌声には、例年にもまして圧倒された。航空券やカラーテレビ等の景品提供があったbingoゲームでは大いに盛り上がり、売上も約16万円に達した。売上金は同窓会に寄贈された。約3時間の懇親会は、高良ミチ子副会長の挨拶で閉会した。



# ◇◇◇二中健児の塔慰靈祭しめやかに行われる◇◇◇

沖縄戦終結から53年目の夏を迎え、今年も6月23日がやってきた。城岳公園にある二中健児の塔において、慰靈祭がしめやかにとり行われた。二中の先輩の御靈を慰めるとともに、平和への誓いを新たにした。開始前の激しいにわか雨にもかかわらず、遺族、同窓生、那覇高校職員、教育実習生、生徒を含め350余名が参加した。

小嶺長則那覇高校教諭の司会のもとで、吹奏楽部と合唱部による二中校歌の献樂に始まり、一分間の黙祷、名幸俊海護国寺住職の読経、宇良宗真同窓会会長の追悼の辞、花城由樹夫生徒会長の誓いの言葉、焼香、弔電紹介とつづき、照屋真遺族会代表のあ

いさつで慰靈祭は閉じられた。

終了後、復元された二中校旗が披露された。二中の先輩方は手にとって、青春の一ページを思い出すかのように語り合っていた。



## ◇那覇高校ニュース◇

平成10年3月1日、第51回卒業式が挙行された。普通科533名、衛生看護科37名、合計570名が卒業して同窓生の仲間入りをした。卒業生の進路状況は、県外公立大に京都大をはじめ13名、県内国公立大56名、県外私大83名、県内私大47名、県外短大30名、県内短大38名、看護学校24名、専門学校72名、準大学6名、就職16名となっている。特に県外公立大学は11の大学にわたっており、自分の目標にあった大学選択が行われている。

入学式は4月7日に行われ、衛生看護科40名、普通科480名、計520名、が入学した。那覇国際高校開校の関係で2クラス減の新入学となったが、現在の生徒在籍は、衛生看護科118名、普通科1,476名、計1,594名であり、県下唯一の生徒数を有するマンモス校である。

高校総体は5月29日から6月4日までの日程で開催された。本校は27種目の競技に男子145名、女子136名の選手が参加した。団体戦では、剣道女子、空手男女組手が2位、ソフトテニス女子3位、水泳女子3位、水泳男子4位、と健闘した。個人戦では、剣道女子親川志奈子さん、柔道女子(52kg級)具志堅優子さん、空手女子組手譜久村美香さんがそれぞれ優勝し、弓道男子新里太和君、空手男子組手花城由樹夫君、金城達尋君、空手女子組手大城寿恵子さんがそれぞれ3位に入賞した。

総合成績は3位入賞を果たした。また、野球は21年ぶりにベスト8に入る健闘を見せた。去る4月には待望の部室がD棟3階に完成し、部活動は一層盛り上がり、グラウンドや体育館はいつも熱気に満ちている。



新たに16部室を完成（3階）

### 事務局より

◆募金にご協力下さいました皆様へ感謝申し上げます。

〈募金状況（H10.7.7現在）〉

・二 中 卒	3,035,500円
・那覇高卒	20,772,402円
・企 業	4,290,000円
・芸能フェスティバル純益金	2,000,000円
・現・旧職員、その他	609,000円
・P T A	6,427,000円
・合 計	37,133,902円

◆7月13日、記念事業期成会理事会において事業予算の配分をつきの通り決定しました。

・同窓会館内部改装	8,463,000円
・総務委員会	2,804,000円
・財務委員会	2,740,000円
・記念誌委員会	8,000,000円
・芸能フェスティバル	1,000,000円
・体育館縫帳	3,000,000円
・記念式典・祝賀会	4,000,000円
・城 岳 祭	1,000,000円
・予 備 費	2,126,902円
・合 計	37,133,902円

◆二中・那覇高校創立88周年記念事業式典・祝賀会へ多数の方々が、ご出席下さいますようお願いします。

期 日:平成10年10月17日(土)正午

場 所:那覇高等学校 体育館

### 城岳同窓会会報

編集発行 創立88周年記念事業期成会  
総務委員会(委員長:神谷 尚)

〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-21-53

電 話 098-867-2525